



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社ノバレーゼ  
代表者名 代表取締役社長 荻野 洋基  
(コード:9160、東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 増山 晃年  
(TEL. 03-5524-3344)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年5月26日に公表した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社株主に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A）	20,114	3,082	2,777	1,860	74円43銭
今回修正予想（B）	18,035	1,509	1,202	855	34円24銭
増減額（B－A）	△2,078	△1,572	△1,574	△1,004	△40円19銭
増減率（％）	△10.3%	△51.0%	△56.7%	△54.0%	△54.0%
（参考）前期連結実績 （2022年12月期）	17,222	2,775	2,485	1,656	66円27銭

（注）1. 当社グループは国際会計基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

2. 前期連結実績（2022年12月期）の基本的1株当たり当期利益は期中平均発行済株式数により算出しております。2023年12月期（予想）の基本的1株当たり当期利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 2023年5月25日付で、株式1株につき200株の株式分割を行っております。上記では、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益を算出しております。

#### 2. 修正の理由

2023年12月期の連結業績予想につきまして、本年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類へ変更されたことにより、新型コロナウイルス感染症の影響はほぼ収束すると想定しておりましたが、7月以降第9波と呼ばれる感染再拡大の報道や罹患者の増加等により、各KPIに影響が生じた結果、売上収益が減少する見込みとなりました。なお、各段階利益については、売上収益の減少により売上収益に占める固定費の割合が高くなったことから、大きく減少する見込みであり、業績予想を下方修正することといたしました。各KPIの予想対比および要因については以下の通りであります。

各 KPI の予想対比

	施行組数 (組)	平均ゲスト数 (人)	平均組単価 (千円)	一般飲食 (百万円)
前回発表予想 (A)	4,886	53.9	3,274	1,394
今回修正予想 (B)	4,622	51.4	3,154	945
増減額 (B - A)	△264	△2.5	△119	△448
増減率 (%)	△5.4%	△4.6%	△3.6%	△32.2%
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	4,660	47.2	3,070	665

①施行組数

施行組数は、前回予想より△264組の4,622組となる見込みです。前回予想以降10月31日までに、新型コロナウイルス感染症の罹患等、当事者の環境の変化に起因するキャンセルが67組、来期以降への日程変更が67組発生しました。

新店の沖縄店舗についても、8月初旬の台風で一部被害が発生し、完全復旧までに2か月程度かかったことから開業後の販促活動が遅れ、予算を40組下回りました。第3四半期会計期間において新規来館数は堅調に推移したものの、一部既存店の競争激化により受注率が低下したため、年内施行の受注の積み上がりが不足したことも影響いたしました。

②平均ゲスト数

平均ゲスト数は、前回予想より△2.5人の51.4人となる見込みです。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、招待するゲスト数を絞った少人数婚礼の施行割合が想定を上回ったことによるものです。

③平均組単価

平均組単価は、前回予想より△119千円の3,154千円となる見込みです。これは、前述の平均ゲスト数の減少の影響および、少人数婚礼の施行の増加による衣裳の平均着数の減少によるものです。

④一般飲食

一般飲食は、前回予想より△448百万円の945百万円となる見込みです。これは、法人の大規模宴会については引き続き開催を見送るケースが多く、受注が苦戦したことによるものです。

以上